

## 総務市民文教委員会記録

平成 24 年 11 月 21 日  
第 1 委員会室  
本会議休憩中

### 1 総務部局関係

#### (1) 付託事件審査

##### ①議案第 83 号 光市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例

●説明：中村総務課長 ～別紙

●質疑

○森戸委員

給料について、トップである市長が 10 パーセントカットで、他の方が 3 パーセントカットとなっているのですが、何故ですか。

○中村総務課長

市長につきましては、初めて市長選に臨みました時に給料の一部減額をすることをマニフェストに掲げまして、当選された初めての 12 月議会で 10 パーセントを削減する条例改正を議会に上程し議決されたという経緯がございます。それから、副市長以下につきましては、財政状況なども勘案し、平成 22 年 4 月から行っている職員の一部給料カットに合わせた形で 3 パーセントカットを行っているということが経過でございます。

○森戸委員

職員と特別職は違うと思うのですが、通常トップが 10 パーセントと言ったら大体それに合わせていくのが普通なのではないかというのが普通の感覚だと思うのですがいかがですか。

○中村総務課長

トップは 10 パーセントという考えでカットされていますが、副市長以下特別職が 10 パーセントというのはいかなるものかという議論が当時ございました。それで結局 3 パーセントという結果に落ち着いたということでございます。

○森戸委員

いかがなものかという部分をもう少し詳しく教えていただけますか。

○中村総務課長市長の給料、それから副市長以下、教育長、公営企業管理者ですが、給料月額も違います。そして市長は公選された方でございます。その辺りもありまして、同じとするのはいかがなものかということでございます。

○森戸委員

何度も言いますが、特別職と職員は違いますし、退職金もあるわけですから、その辺も鑑みる必要があるのかなと私は思います。

○加賀美委員

市長、副市長、および公営企業管理者。こういう方々は特別職であって、こういう特別職の方々の給料というのは特別職の報酬審議会があるのではないかと、思うんですよね。だからこれは自発的に毎年下げておられると言っているのだけれども、特別職の報酬審議会はどういう対応をしているのか。どういう感覚なのか。そこらの対応をお伺いしてみたいのですが。

○中村総務課長

特別職の報酬審議会でございますが、これは常時設置をしているものではございません。必要に応じて開催するというもので、いわゆる職員給与の動向と申しますか…。職員の給料が上がり下がります。それに依りて特別職もどうなのかということで開催しているもので、議員さんも含めた給料になるわけですが、これも決めていただくというようなものでございます。ここ何年かは、職員給与が大きな上がり下がりというのがありませんでしたので、開催が今見送っているというところでございます。

○加賀美委員

開催はどういった形で行われるのですか。例えば市長が開催を求めるという形になるのか、それとも全体的に給料が下がってきている中で報酬審議会の方で開催を決めるのか。

○中村総務課長

世の中の情勢を鑑みて、職員の給料について国が人事院勧告というものを出示します。それに合わせて地方公務員も給料の変動がございます。そのあたりを勘案して報酬審議会を開催し、委員さんの意見をお聞きし、国の動向、他市の状況、それから類似の団体などの状況から判断していただくということでござい

ます。今はそのような状況になっていないということで考えています。

○加賀美委員

どこがどのようにして諮問するかということを知りたいのです。

○中村総務課長

これはあくまでも市長が諮問するわけでございます。

○加賀美委員

わかりました。

○森戸委員

市長および特別職の退職金の額を教えてください。

○中村総務課長

まず市長でございますが、給料減額したものがそのまま反映してまいりますので、約 2,100 万円。それから副市長でございますが約 1,220 万円。それから教育長、公営企業管理者が約 750 万円という額でございます。

○森戸委員

もっている方で何回ももっているとか分かりますか。

○中村総務課長

市長が二期目ですから 1 回。それから副市長も 1 回。教育長は 0 回。水道事業管理者も二期目ですから 1 回です。

○森戸委員

先程の続きですが、トップが 10 パーセント削減であれば、よくよく考えることが必要であろうかなと強く申し上げておきたいと思えます。

●討論

○森戸委員

先程と同じことを言いますが、昨今の経済情勢を考えると、トップが 10 パーセント削減であれば、横並びで 10 パーセントにしていくべきなの、ふさわしいと思うので、強くお願いしたい。

採決：賛成多数で「可決」すべきもの